

## 4-12月の人気本



(辻村深月)

### 『かがみの孤城』

不登校の中学生7名が鏡の中へ迷い込む。大人にも子どもにも薦めたい、本屋大賞2018に選ばれた感動作。



(川口俊和)

### 『コーヒーが冷めないうちに』

タイムスリップできる喫茶店のお話。4編全てが繋がっており、読み応えあり。

(住野よる)

### 『君の臍臓をたべたい』



臍臓の病気を抱えた少女と僕の友情ストーリー。昨年に続き人気。

(浅原ナオト)

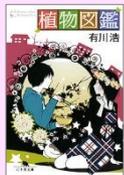
### 『彼女が好きなものはホモであって僕ではない』



LGBTがテーマ。為になります。

(有川 浩)

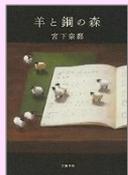
### 『植物図鑑』



ラブストーリーを楽しみたい人におすすめ！植物の豆知識も満載の小説です。

(宮下奈津)

### 『羊と鋼の森』



「文章が美しい」と評される、ピアノ調律師のお話。本屋大賞2016。

(住野よる)

### 『よるのぼけもの』



夜になるとぼけものの姿になる僕と、いじめられっ子の少女の話。

(住野よる)

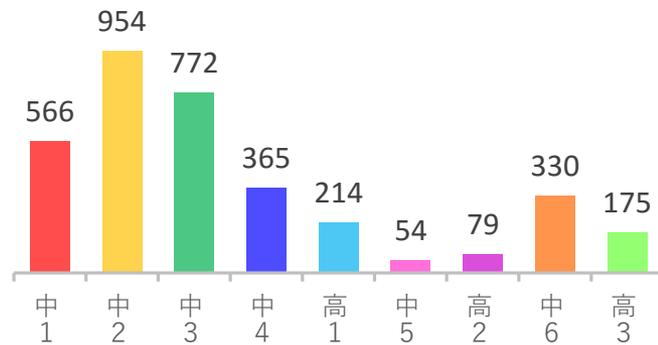
### 『か「」く「」し「」ご「」と「』



タイトルが意味深。特殊な能力をもった高校生5人のお話です。

## 4~12月の貸出冊数は ... 3, 509冊

中2の勢いがすごい。この調子で1,000冊を突破してほしいと思います。受験生も読書意欲が高い！勉強の合間に読書しています。



## 今年度も表彰します！ 多読賞

- ① 1年間に図書館の本を最も多く読んだ生徒
- ② 3年間に図書館の本を最も多く読んだ生徒

を年度末に表彰します。対象は①各学年1名ずつ、②中3から3名、中6高3から3名。みなさん多読賞をめざして頑張ってください！

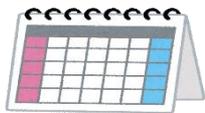
ちなみに昨年度 開智で最もたくさんの図書を読んだ生徒は203冊(中1女子)でした！



### 帯が面白い本

本の帯はキャッチフレーズが見事。図書同好会が面白い帯を紹介します。

今月の特集コーナー！



### 平成の30年

平成もあと4か月。この30年間の出来事が分かる図書を紹介します。

新

着

図

書

円城 塔『エピローグ』  
 黒川伊保子『妻のトリセツ』妻を怒らせてはいけません。  
 武田綾乃『青い春を数えて』  
 田向健一『珍獣の医学』エキゾチックベットの話。  
 中央大学出版部『高校生からの経済入門』  
 西日本新聞社『戦争とおはぎとグリーンピース』  
 西山恭博『税理士になるには』  
 平坂 寛『外来魚のレシピ』外来魚を食べてみる本。  
 藤原辰史『給食の歴史』  
 松原タニシ『恐い間取り』事故物件の解説。  
 吉野万理子『チーム！』  
 ヨシタケシンスケ『それしかないわけないでしょう』



ほか